

世界遺産に登録を目指す最上川

町議会議員選挙が11月6日告示、11日投票が行われ10人の新議員が決まりました。選挙後初めての議会が開かれ、議席の指定後、議長及び副議長選挙を行いました。また、総務文教常任委員会委員、厚生産建常任委員会委員、議会運営委員会委員、広報特別委員会委員などが選任され、新たな議会構成が決まりました。

大石田町議会新体制で本格始動！



議長就任あいさつ

大山 二郎

町民の皆様には穏やかな新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。昨年の改選により6人減の10人の議員となり、より一層議員一人一人が背負う責任の重さを感じつつ、更に議長としての重責を担うことになりました。国自体が混迷し、地方自治体は苦しい運営を強いられておりますが、議会としては常に住民第一の考えの基、活発な議論をしつつ、問題早期解決をはかるため、全議員が一丸となって取り組む必要があります。現在着工した統合中のほか、雪に強い町づくり



副議長就任あいさつ

星川 久

初春にあたり幸多き年でありますよう心から祈りたいします。町民の皆様には日頃の議会に対するご理解と、特段のご協力を賜っておりますこと、厚く御礼申し上げます。昨年は戦後最大の農政大改革が行なわれましたが、水稲の転作、米価の下落を始め、過去最高の原油価格の高騰等、農業を基幹産業とする当町においては、厳しい行政課題が残されました。これらの解決には、皆様の英知と創意の結集が肝要と存じます。

最上川を世界遺産に！

山形県は「最上川の文化的景観」を世界遺産候補として文化庁へ提案しました。最上川に育まれた大石田町にも貴重な文化資産が多く残されており、世界遺産登録を町民運動として推進していきましょう。